



2022.12.19 瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

ぺったんぺったんお餅つき

その日は登園した子どもたちが、皆朝からハイテンション。運動場の隅に置いてある珍しい何かを見つけて、大喜びしていました。「お餅つきだよね。」と嬉しそうに話しています。

初めて体験する子どもたちは、お餅が何から出来ているのか知りません。「お米から」と言って見せるとみんな驚きます。火を焚きご飯を炊くようにお米を蒸して、蒸しあがったもち米を臼に入れると大歓声。まずもち米を潰すところから見ていきます。

その後、杵でお餅をついていきます。大きな声で「ぺったんこ、ぺったんこ」と応援してくれました。ほぼお餅の状態になってからが、子どもたちの出番です。子ども用の小さい杵ですが、子どもたちにとっては持ち上げるのも大変。お友だちがつく時には「ぺったんこ」とかけ声で励ましながら、交代してお餅をついていきます。2・3歳児クラスと年少組は先生と一緒に杵を持ってつきました。年中組は担任が後ろで見守りながら、ちゃんと自分でつきました。年長組はさすが力持ち。ふらつくことなくしっかり自分で杵を持ってお餅つきができました。

あるお子さんの一言が胸にささりました。「ついたお餅を食べたいね。」そうです。本来ならついたお餅を食べて、「美味しかったね。」で終わるはずなのに……。以前は幼稚園で食べていました。ところが、『のどに詰まらせるといけないので、小さいお子さんには食べさせないこと』『ある園でノロウィルス等の感染があり餅つきが中止になったこと』さらに『新型コロナウイルスの感染拡大』と続いてしまい、ついたお餅を幼稚園で食べることが出来なくなってしまいました。その代わりに花もちを作ります。これでお正月を迎える準備ができました。お家で楽しかったお餅つきのお話を聞いてあげてくださいね。

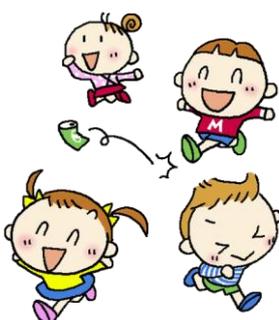


相手の立場になって…

皆様もニュースでご存知かと思いますが、長野市のとある公園が来年3月に廃止されることになりました。「児童センターの子どもが40人～50人で遊ぶ時の声と、職員が拡声器で指示するのがうるさくて」という声がお隣に住む方から寄せられ、様々な対策案を考えたが、結局「公園は廃止する」という結果になり、このニュースが全国に広がり物議をかもし出しています。

長野市の公園廃止は、賛成派と反対派に分かれて世論は二分化し、さらにSNSが拍車をかけ、大騒動になっています。子どもたちが元気よく遊ぶ姿や歓声をほほえましいと感じるのか、大勢で遊ぶ子どもたちの声が騒音に聞こえるのか。今のところ、長野市は公園廃止で計画が進んでいます。

実は以前、春日井の園でこれと同様なことがありました。春日井の園は南は庄内川堤防、東は神社で、開園当初は北側・西側は田畑が広がっていました。区画整理が進み田畑は住宅地となり、丁度道路を挟んだ向かい側にワンルームマンションが建ったのです。2学期が始まり、運動会の練習をしていたところ、電話がなりました。「子どもたちの声がうるさい。先生の笛の音がうるさい。」と言われたのです。



その方は夜勤明けで午前中の時間に睡眠をとるとの事でした。早速、お詫びと共に、その方の夜勤明けの日は極力「運動場での笛はやめること、子どもたちにも極力声を抑えて」と指導しました。2・3回やりとりはありましたが、なんとかトラブルは収まりました。

我々は社会で共生していかなければなりません。それぞれの主張がぶつかった時にどうしたらよいのか。自分の主張だけを通そうとしても平行線のまま解決にはなりません。結局はお互いに相手の立場になって、誠意をもって譲り合うしか解決策はないと思います。難しい問題ですが……

2022年もあと少し。今年1年、幼稚園へのご理解・ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。来年もご家族皆様にとって幸多い年となりますことをお祈り申し上げます。良い年をお迎えください。

